

整備スケジュール

(仮称)新九段生涯学習館の整備に向けた想定スケジュールは、以下のとおりです。

工程	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
基本構想	→								
基本計画		→							
再開発事業		→							
仮移転先の検討・運営		→							

※建築工事は、再開発事業施行者である九段南一丁目地区市街地再開発組合で実施

今後の取組み

基本計画の策定

基本構想で整理した基本的な考え方に基づき、具体的な機能、設備、規模等を示す基本計画の策定に取り組む予定です。

建設期間中の代替施策等

建設期間中においては、現施設で行われている各種活動が継続できるよう、代替施策を検討します。その実現にあたっては、民間施設との利用調整や連携も視野に入れ、検討を進めます。



●お問合せ先
千代田区地域振興部生涯学習・スポーツ課
〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1
電話番号：03-3264-2111（代表）

(仮称)

新九段生涯学習館基本構想

【概要版】

令和8年(2026年)3月

はじめに

九段生涯学習館は、「千代田区に住み、働き、学ぶすべての人々の生涯学習の振興を図る」ことを目的に、区民のグループやサークル等の自主的かつ継続的な学習活動を支える場として、重要な役割を果たしてきました。学習や研究、実習等の場の提供に加え、各種サークルと区民をつなぐ手助けや活動成果の発表機会の創出など、地域社会の活性化に寄与してきました。昭和55年の設立以降、40年以上にわたり生涯学習・文化芸術の拠点として親しまれてきましたが、施設や設備の老朽化の課題を抱えており、機能更新の時期を迎えています。

このような中、「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」が計画され、竣工後の再開発ビルに配置する区有施設については、生涯学習館の機能更新を軸に検討していくこととしました。

本基本構想は、年齢や障害の有無に関わらず、すべての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点とするため、生涯学習館の新たな整備に向けた基本的な方向性を明らかにすることを目的として策定しました。

めざす姿

めざす姿

学び、つながり、未来へ
「九段から始まる学びのサードプレイス」

基本方針

基本方針

1

多様な人々が交わり、日常に開かれた、居心地のよい交流空間をつくります。

基本方針

2

生涯を通じて自分らしく学び続け、地域や社会とつながる“活動の場”を提供します。

基本方針

3

千代田の歴史と文化に根ざし、世代を超えて学びが息づく場をつくります。

基本方針

4

変化する社会に対応し、学びや挑戦を生み出す、柔軟で持続可能な施設とします。

基本方針

5

誰もが安心して、気持ちよく利用できる、安全で快適な施設とします。

導入機能

「めぎす姿」及び「基本方針」を実現するため、（仮称）新九段生涯学習館には主に2つのエリアを設け、5つの機能を導入します。また、各機能に、次のとおり諸室を導入します。

活動エリア	①「座学系の活動」機能	・会議室 ・和室 ・創作室
	②「運動・音楽系の活動」機能	・運動・音楽室 ・スタジオ
交流エリア	③「展示・発表」機能	・ギャラリー
	④「オープンな活動空間」機能	・談話スペース
	⑤「談話・休憩・飲食」機能	

①「座学系の活動」機能

会議室



- ・利用率を踏まえて、各部屋の規模や室数を整理します。
- ・可動間仕切りによって、人数に応じて柔軟にスペースを活用できるようにします。
- ・活動の見える化を図るとともに、明るく開放的な空間とします。使い勝手のよい部屋の形・設えを検討し、一部の部屋には防音性能の導入を検討します。

和室



- ・和室（大）、和室（小）を1室ずつ整備します。
- ・規模は現状を維持しつつ、機能を更新して利用率の向上を図ります。

創作室



- ・利用率や利用実態を踏まえ、活動スペースの規模は縮小、電気炉等を置く準備室は拡充して整備します。
- ・陶芸専用の部屋から、創作活動全般で多目的に利用できる部屋への転換により、利用率の向上を図ります。

②「運動・音楽系の活動」機能

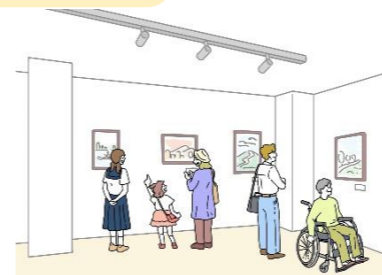
運動・音楽室



- ・利用実態を踏まえ、各部屋の面積を増やす方向で検討します。
- ・また、利用実態を踏まえ、大部屋や中部屋、小部屋（スタジオ）を整備して、部屋数を増やし機能を拡充します。
- ・運動や音楽でも利用できるような設えとします。

③「展示・発表」機能

ギャラリー



- ・利用者の交流する機会を増やせるようエントランスロビーの一部として導入します。
- ・展示だけでなく、生涯学習のきっかけづくりを目的としたイベントの開催場所としての活用を図ります。
- ・様々な利用者の目に触れ、施設の活気や賑わいを感じられる場所にします。
- ・展示イベントの利用がないときは、待ち合わせや休憩に自由に使えるスペースとして整備します。

④「オープンな活動空間」機能

⑤「談話・休憩・飲食」機能

談話スペース



- ・展示機能と一体的に整備し、面積を共有することで、状況に応じて面積を増減させ、柔軟なスペース活用を図ります。
- ④「オープンな活動空間」機能
 - ・生涯学習活動が個室で完結するのではなく新たな出会いやつながり、活動が生まれることに期待して、個人やグループで利用できるスペースの導入を検討します。
- ⑤「談話・休憩・飲食」機能
 - ・エントランスロビーの一角に休憩スペースを整備します。
 - ・活動前後の待ち合わせや打合せスペースとして飲食機能などの導入を検討します。

交流エリア

活動エリア

機能関連イメージ図

